



■ご寄付ありがとうございました

8月20日に行われた佐渡市トキ環境整備基金贈呈式で、ときわ会様(新潟市)から10万円のご寄付をいただきました。カンゾウの会から改称したときわ会様は、佐渡市出身者を中心に新潟市で交流活動をされており、佐渡市が誕生してから毎年ご寄付をいただいています。また、このほかに、佐渡興産有限会社様からもご寄付をいただきました。

ご芳志は、トキ野生復帰事業や生息環境の整備に活用させていただきます。ありがとうございます。ございました。



■第13回トキ放鳥

9月25日の朝、野生復帰ステーションの順化ケージにおいて放鳥口を解放し、13回目となるトキ放鳥が開始されました。

今回放鳥されたトキは、オス2羽、

メス17羽の合計19羽で、この中には、トキふれあいプラザオーブン当初飼育されていたメスの「ゆるり」と、昨年初めて同プラザで誕生したひな3羽のうち、オスの「つなぐ」が含まれています。



■トキの情報をお寄せください

順化ケージから飛翔したトキは、普段トキが見られない場所で行動することもあります。また、広い範囲を飛ぶため、市民の皆さまからの目撃情報は貴重な資料となります。

トキを目撃した際には、トキ交流会館(フリーダイヤル0120-980-551)へお気軽に情報をお寄せください。

◆市役所農林水産課生物多様性推進室トキ政策係(トキ交流会館内)
☎24-6040

明るく輝く星もジオパーク — 金・銀 誕生の謎 —

「佐渡の金や銀(元素)はどこで誕生したのでしょうか?」と聞くと、「地球の中心」と考える人がいますが、実は、星が一生を終えた瞬間に誕生したのです。

138億年前に宇宙が誕生した時宇宙には水素とヘリウムのガスしか存在しませんでした。長い年月を経て、これらのガスが集まり、太陽のように自ら輝き出しました。星(恒星)の誕生です。星は、水素を核融合反応(水爆と同じ原理)させて、膨大なエネルギーを放出、星の中で炭素や酸素などの軽い元素を誕生させました。私たちの太陽のおよそ10倍以上の巨星の中では、さらに重いケイ素、鉄など地球の主成分の元素が作られました。

星にも寿命があり、最後には大爆発します。巨星が大爆発したその瞬間のものすごいエネルギーで、金・銀などの重い元素を誕生させます。巨星の爆発のことを超新星爆発といいますが、有名なものでは、鎌倉時代の公家藤原定家の日記「明月記」に、『見慣れない星が、オリオン座の東に見えた。牡牛座のゼータ星付近で、大きさは木星ほどだった』(現代語

訳)と書かれています。この時の爆発の残骸が、牡牛座のかに星雲(写真)であることが判明しています。超新星はとても明るく、光でおよそ7千年かかるほど遠い場所にあるのに、昼間でも明るく輝いて見えたと中国の記録に残っています。

今から約46億年前、大爆発した星々の残骸(宇宙の塵)が集まって地球が誕生しました。佐渡で採掘された金・銀は、実は巨星の大爆発の恵みだったのです。このように、ジオパークは、地球上のことだけでなく、頭上の星々、宇宙まで丸ごと含むものなのです。

◆教育委員会社会教育課
ジオパーク推進室(両津支所内)
☎27-4185



超新星爆発の残骸「かに星雲」
写真 AFP=時事(承認済)

